

2019年 3月22日

京成電鉄株式会社

京成ビルサービス株式会社

環境保全に貢献するため、京成上野駅で回収した 壊れたビニール傘をリサイクル資源として提供

「ビニール傘リサイクルプログラム」に協力しました

京成電鉄(本社:千葉県市川市、取締役社長:小林 敏也)と京成グループの京成ビルサービス(本社:千葉県船橋市、取締役社長:澁谷 賢一)では、テラサイクルジャパン合同会社とユニリーバ・ジャパン株式会社が実施した「ベン&ジェリーズ ビニール傘リサイクルプログラム」に参画し、京成上野駅において回収した壊れたビニール傘をリサイクル資源として提供しました。

本プログラムは、大量に使い捨てられているビニール傘を回収・リサイクルすることで地球環境へのネガティブな影響を可能な限り減らすことを目的として、2017年12月～2019年2月の間に実施されたものです。

京成グループでは、グループ行動指針に「私たちは、自然環境に配慮し、行動します。」と掲げており、2018年9月から、京成上野駅において回収した通常廃棄される壊れたビニール傘計102本をリサイクル資源として提供しました。

今般、本プログラム終了に伴い、テラサイクルジャパン合同会社およびユニリーバ・ジャパン株式会社より、2019年3月22日(金)にビニール傘をリサイクルして作られたオリジナルキーホルダー(ボトルオープナー)100個が贈呈されました。

京成電鉄および京成ビルサービスでは、今後も自然環境に配慮した取り組みを推進してまいります。

以上



ボトルオープナー贈呈の様子(場所は京成上野駅)



オリジナルキーホルダー
(ボトルオープナー)